

日本の人口問題

今の日本の人口は、どの位か知っていますか。1億2千7百万人です。日本の人口は国の研究機関が、今後50年間で3割減ると推計しています。したがって、2067年には8890万人になるという予想です。百年後には、半分以上になると言われています。日本の人口は明治維新以後の150年の間に急激に増加し、今後百年間で急激に減少することになります。人口増加を多めに見積もっても、人口はいずれ半分以上になるそうです。今後出生率が増えたにしてもかなりの部分で確定しているのだから逃げ道はないようです。もう一つの人口問題は、

若者の減少と高齢者の増加です。2050年までの年齢別の推移を見ると、15歳未満の若年層は半分に、15歳から64歳までの現役世代は3分の2に減ります。しかし、65歳以上の高齢者は増え、約4割を占めるようになるのです。

これほど日本の人口問題は深刻なものです。1965年は働く世代9人が1人のお年寄りを支える胴上げ型、2015年は2人が1人を支える騎馬戦型、2065年は働く世代1人が1人を支える肩車型になると予想されています。よく待機児童の問題がニュースになります。子どもを安心して産み、育て、働ける環境の整った社会を作ることが如何に重要であるかが分かると思います。

- 語彙力チェック
- ①秋の七草とは。
 - ②「揮毫」(きごう)の「毫」の意味は。
 - ③「疑獄」はどんな事件か。
 - ④「騎虎」の意味は。
 - ⑤「起死回生」の意味は。
 - ⑥「帰趨」の読みは。
 - ⑦「希少価値」が高くなるものは。
- (解答) ①萩、尾花(ススキ)葛、撫子、女郎花、藤袴、朝顔(桔梗) ②A ③C ④B ⑤B ⑥C ⑦A